センサレベルを調整する

トンボを読み取るセンサの読み取りレベル（メディアの地色とトンボ線を見分けるしきい値）を自動調整します。

白地に黒い線で描かれたトンボを読み取るように、センサは調整されています。メディアの色や光沢によって、センサの読み取りレベルを調整し直してください。

メディアの表面性状によって自動調整が難しい場合には、手動でセンサの読み取りレベルを設定してください。

操作方法

1 レベル調整パターンは、付属 CD に収録されているパターンを使用するメディアに印刷するか、レベル調整パターンの描かれたメディアをセットします。

レベル調整パターン

補 足

- メディアのセットについては「メディア（用紙やマーキングフィルム）をセットする」P.2-5 を参照してください。
- 定型のトンボパターンは、付属の CD の「ARMSTest Files」フォルダに入っています。

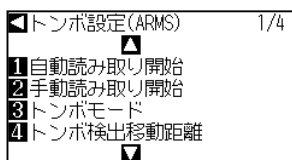
トンボパターン	ファイルフォーマット	ファイル名
トンボパターン 1	pdf	ARMStest_type1.pdf
	eps	ARMStest_type1.eps
トンボパターン 2	pdf	ARMStest_type2.pdf
	eps	ARMStest_type2.eps

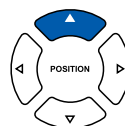
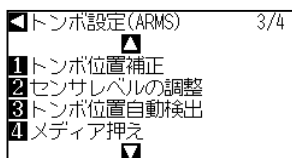
- レベル調整パターンは使用するメディアにトンボ色トンボ線幅を描いたものをご使用ください。

2 ［PAUSE/MENU］キーを押します。

▷ メニュー画面が表示されます。

3 ［2］キー（ARMS）を押します。

▷ トンボ設定画面（1/4）が表示されます。

4 POSITION（▲）キーを 2 回押します。

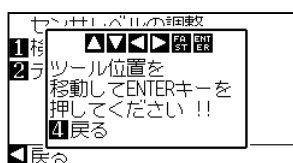
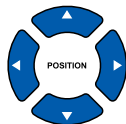
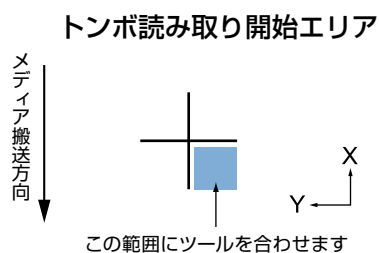
▷ トンボ設定画面（3/4）が表示されます。

5 ［2］キー（センサレベルの調整）を押します。

▷ センサレベルの調整画面が表示されます。

補 足

POSITION（◀）キー（戻る）を押すと、設定を変えずにトンボ設定画面（3/4）に戻ります。

6 ［1］キー（検出）を押します。

▷ 次のメッセージが表示されます。

7 POSITION（▲▼◀▶）キーを押して、ツールをトンボ読み取り開始エリアに移動します。

8 ツールの位置を確認し、［ENTER］キーを押します。

▷ トンボを読み取り、センサレベルが調整されます。調整が完了すると、トンボ設定画面（3/4）に戻ります。

9 ［PAUSE/MENU］キーを押します。

▷ 基本画面に戻ります。

補足

[2] キー（デフォルト）を押すと、センサレベルを初期状態に設定して、トンボ設定画面（3/4）に戻ります。

補足

POSITION キーと同時に [FAST] キーを押すと、ツールキャリッジが早く移動します。

補足

- [4] キー（戻る）を押すと、設定を変えずにセンサレベルの調整画面（3/4）に戻ります。
- メディアの状態によっては、調整してもうまく読み取れない場合があります。検出動作が正常に完了しない場合は、「手動位置合わせで補正する」P.6-3 を参照してください。

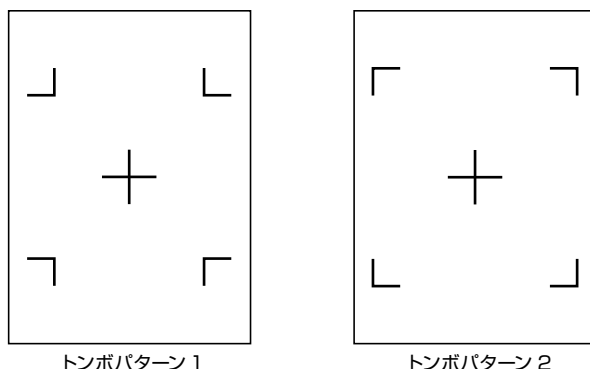
トンボ読み取りセンサをテストする

トンボを使って位置を合わせても作図がズレる場合に、プロッターだけでトンボの作図と検出を行ってトンボの位置精度を評価し、問題がトンボ自体にあるのか、アプリケーションソフトにあるのかを見極めることができます。

⚠ 注意

この機能では、トンボパターン読み込み後にカットを行います。ツールにカッターを使用するとプロッターを傷つけることがあります。

操作方法

1 付属の CD に入っている定型のトンボパターンを印刷します。

トンボパターン 1

トンボパターン 2

補 足

● トンボモード 1 をテストしたい場合は「テストパターン 1」を、トンボモード 2 をテストしたい場合は「テストパターン 2」を印刷します。

● 定型のトンボパターンは、付属の CD の「ARMSTest Files」フォルダに入っています。

トンボパターン	ファイルフォーマット	ファイル名
トンボパターン 1	pdf	ARMStest_type1.pdf
	eps	ARMStest_type1.eps
トンボパターン 2	pdf	ARMStest_type2.pdf
	eps	ARMStest_type2.eps

2 印刷したメディアをプロッターにセットします。

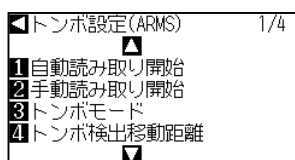
補 足

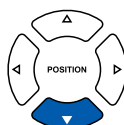
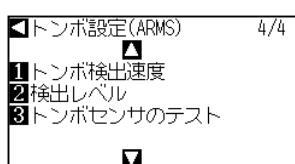
メディアのセットについては「メディア（用紙やマーキングフィルム）をセットする」➡P.2-5 を参照してください。

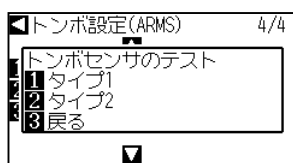
3 ［PAUSE/MENU］キーを押します。

▷ メニュー画面が表示されます。

4 ［2］キー（ARMS）を押します。

▷ トンボ設定画面（1/4）が表示されます。

5 POSITION（▼）キーを押します。

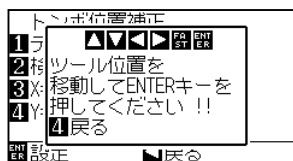
▷ トンボ設定画面（4/4）が表示されます。

6 [3] キー（トンボセンサのテスト）を押します。

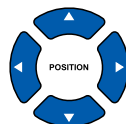
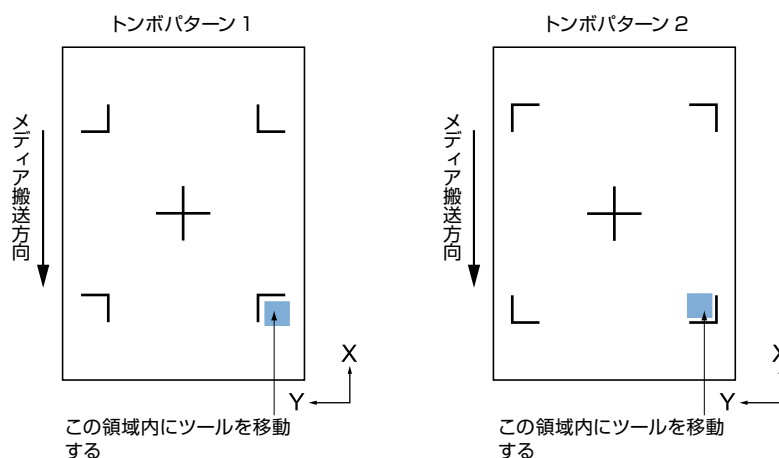
▷ トンボセンサテスト画面が表示されます。

補 足

[3] キー（戻る）を押すと、設定を変えずにトンボ設定画面（4/4）に戻ります。

7 使用するトンボのタイプに合わせて、[1] キー（タイプ 1）または、[2] キー（タイプ 2）を押します。

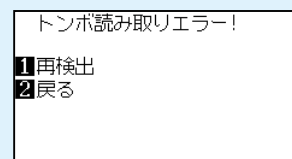
▷ 次のメッセージが表示されます。

補 足

[4] キー（戻る）を押すと、設定を変えずにトンボセンサのテスト画面に戻ります。

8 POSITION（▲▼◀▶）キーを押して、ツールをトンボ読み取り開始エリアに移動します。

9 ツールの位置を確認し、[ENTER] キーを押します。

▷ プロッターはトンボを自動で検出し、各トンボの頂点をカットします。

補 足

トンボを読み取れなかった場合は、エラーメッセージを表示します。

[1] キー（再検出）を押してもう一度読み取るか、[2] キー（戻る）を押して終了します。

10 作図結果を確認します。

▷ 作図位置がズレている場合は、「トンボ読み取りの位置誤差を補正する」➡P.5-27 を参照して調整します。トンボを読み取れない場合は、「センサレベルを調整する」➡P.5-20 を参照して調整します。